



2023年2月10日

各位

会社名 三菱マテリアル株式会社
代表者名 執行役社長 小野 直樹
(コード番号 5711 東証プライム市場)
戦略本社経営戦略部
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
久保田 千秋
(電話番号 03-5252-5206)

持分法による投資損失（営業外費用）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第3四半期連結累計期間において、持分法による投資損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年11月10日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想値を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失（営業外費用）の計上

当社の持分法適用関連会社であるUBE三菱セメント株式会社は、熱エネルギー価格の高騰等により厳しい事業環境にあり、当社は、2023年3月期第3四半期連結累計期間において、同社に係る持分法による投資損失として169億円の営業外費用を計上いたしました。また、販売価格改定の遅れ等により、同社の損益は前回予想時よりも悪化する見込みであり、2023年3月期通期の同社に係る持分法による投資損失は267億円を見込んでおります。

2. 2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想の修正

1) 2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	1,690,000	44,000	18,000	3,000
今回予想（B）	1,680,000	43,000	15,000	6,000
増減額（B－A）	△10,000	△1,000	△3,000	3,000
増減率（％）	△0.6	△2.3	△16.7	100.0
（ご参考）前期連結実績 （2022年3月期通期）	1,811,759	52,708	76,080	45,015

2) 修正の理由

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回予想と比べて為替水準が円高で推移することや高機能製品及び加工事業における販売の減少があるものの、金属事業における販売の増加等を見込み、売上高、営業利益は概ね前回予想並みを見込んでおります。経常利益は、為替差損やUBE三菱セメント株式会社に係る持分法による投資損失が増加することなどから、前回予想より減少する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の税金費用の減少等により、前回予想に比べて増加する見込みです。

（注）上記の予想は、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向等を前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上